



www.firstrepublic.com

業界

金融サービス

概要→企業概要

ファーストリパブリックは1985年に設立され、卓越したリレーションシップベースのサービスを提供することを専門としています。ファーストリパブリックは、住宅ローン、商業ローン、個人ローン、預金サービスを含む包括的な銀行商品と、投資、証券仲介、保険、信託、外国為替サービスを含むプライベートウェルス管理を提供しています。これらのサービスは、主にカリフォルニア州のサンフランシスコ、パロアルト、ロサンゼルス、サンタバーバラ、ニューポートビーチ、サンディエゴ、オレゴン州のポートランド、マサチューセッツ州のボストン、フロリダ州のバームビーチ、コネチカット州のグリニッジ、ニューヨーク州のニューヨーク、ワイオミング州のジャクソン、ワシントン州のベルビューにある優先銀行またはウェルス管理オフィスを通じて提供されています。ファーストリパブリックは、S&P 500指数とKBWナスダック銀行指数の構成銘柄です。

ストーリーのハイライト

最新化の必要性

FRBは複数のデータサイロを維持しており、これが機敏性と効率性を妨げていました。異なるチームが重複した作業を行い、一貫性の欠如が常態化していました。FRBは、一元化され、統制されたデータアクセスを提供する、より最新のデータインフラストラクチャへの移行を望んでいました。

論理的なアプローチ

FRBは、データ複製を行わずに、異なるデータソースへのリアルタイムかつ論理的な接続を可能にするデータ仮想化技術を活用し、データを一元化するために論理データ管理プラットフォームであるDenodo Platformを導入しました。

成果

Denodo Platformにより、FRBはデータインフラストラクチャをより機敏で効率的なものへと変革しました。これにより一元的に管理され、標準化されたデータセットを活用したリアルタイムダッシュボードが実現し、インサイトを得るまでの時間が大幅に短縮されました。

ファーストリパブリック銀行、全事業部門の統合ビューと比類なき機敏性を実現するためにDenodo Platformを全社導入。

ファーストリパブリックは、多様な金融商品において、信頼性の高い、パーソナライズされたサービスを日々提供することに誇りを持っています。近年、顧客のクロスセルやアップセルへの反応が高まり、銀行はそのニーズを予測し、拡大する需要に応えることができるようになってきました。

ビジネスニーズ

長年にわたり、ファーストリパブリックは自然な成長を遂げ、さまざまな企業を買収・統合しながらポートフォリオを拡大してきました。しかし最近になり、経営陣は銀行内の多様な事業部門間での連携を強化する必要性を認識し始めました。各部門はスプレッドシート、ローカルデータベース、サイロ化されたSQL Serverインスタンスを使用して業務を管理しており、新しいテンプルやデータ抽出といった単一目的のソリューションを構築することで、個々の顧客情報が重複するケースが多発していました。また、多くの部門がETL(抽出・変換・ロード)プロセスに大きく依存しており、新たなデータソースやターゲットの追加といった変更に対応するためには開発工数が必要でした。さらに、データはスケジュールされたバッチ処理で提供されるため、分析に活用できるまでに時間がかかり、インサイトの取得が遅れるという課題もありました。

ファーストリパブリックは、データをより容易に利用できるようにし、適切に管理するためにデータの一元化を必要としていました。また、データ製品を組織全体で容易に再利用できる「DaaS(Data-as-a-service)」の基盤を構築したいと考えていました。例えば、プライベートウェルス管理チームやフロントオフィスの営業チームが迅速にクライアントデータを取得できる環境を整えることが求められていました。さらに、ファーストリパブリックは、業務チームのIT依存度を下げる必要がありました。これによりIT部門が単発のソリューションの開



発に追われるのではなく、組織全体のデータフローの改善に集中できるようになります。状況をさらに複雑にしていたのは、銀行がモダナイゼーションの真っ最中であり、Snowflakeへの移行を進めていたことです。この移行を進めながらも、日々の業務でデータアクセスを必要とする部門に対する影響を最小限に抑えることが重要な課題となっていました。

ソリューション

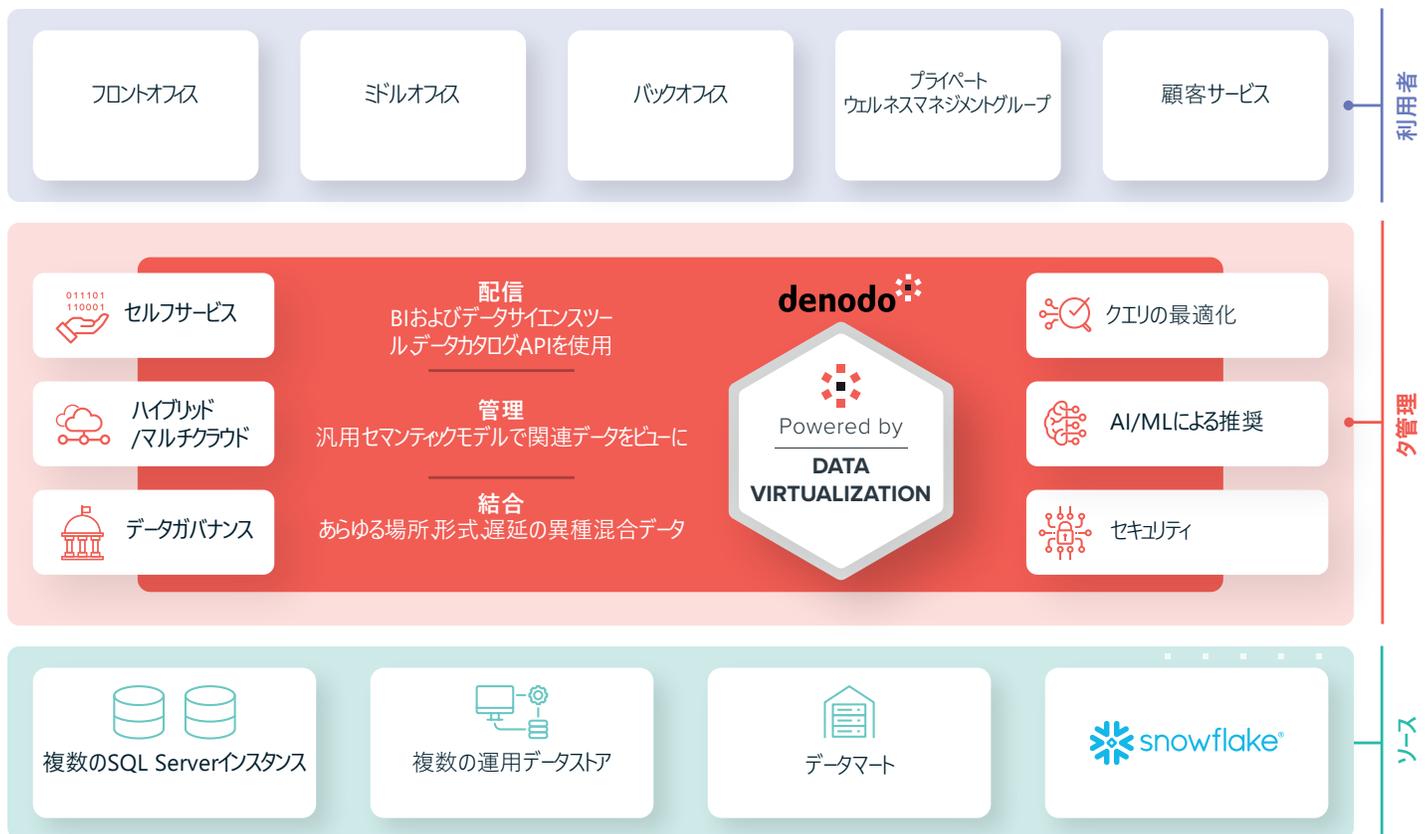
ファーストリパブリックは、データの複製を行わずに異なるデータソースとリアルタイムで論理的に接続できる、データ仮想化技術を活用した論理データ管理プラットフォーム「Denodo Platform」を導入し、データの一元化を実現しました。当初、同社はこのプラットフォームをプライベートウェルネスマネジメント部門に限定して導入し、規制対応を強化しました。この最初の導入では、複数のSQL Server インスタンスや複数の業務用データストア、データマートをシームレスに統合することに成功し、大きな成果を上げました。この成功を受けて、プライベートウェルネスマネジメント部門は、Denodo Platformの適用範囲を拡大し、フロントオフィス、ミドルオフィス、バックオフィスと、銀行全体へ展開しました。特に、フロントオフィスの顧客対応営業チームは、このプラットフォームを活用してレポートングを効率化し、データソリューションの構築を推進しました。

ファーストリパブリックは、Denodo Platformを活用して抽象化レイヤーを構築し、Snowflakeへの移行を加速させました。この抽象化により、基盤となるデータソースへのアクセスが統一され、ユーザーに影響を与えることなく、スムーズにデータをSnowflakeへ移行することが可能になりました。

Denodo PlatformがファーストリパブリックのエンタープライズITによってプライベートウェルネスマネジメントでの使用が承認されると、その後、組織全体で使用が承認されました。最終的に、組織内のすべての機能がDenodo Platformの恩恵を受けています。

Denodo Platformは、データ仮想化機能により、銀行がさまざまなデータソースの上に論理的なデータアクセスレイヤーを実装し、すべてのビジネスラインのユーザーが利用できるようにします。異なるビジネスラインのユーザーは、データにアクセスするために一元的に管理され、標準化されたデータセットを提供する論理データアクセスレイヤーにアクセスするだけで済みます。この中央のレイヤーを通じて、データ利用者は、第三者データであっても、データが移動中または移行中であっても、リアルタイムでデータのビューを取得できます。

ファーストリパブリックがDenodo Platformを全社的に導入したことで、銀行のIT部門は縦割りのチームの集まりから、すべてのビジネスラインにわたる単一の横断的な機能へと変革されました。

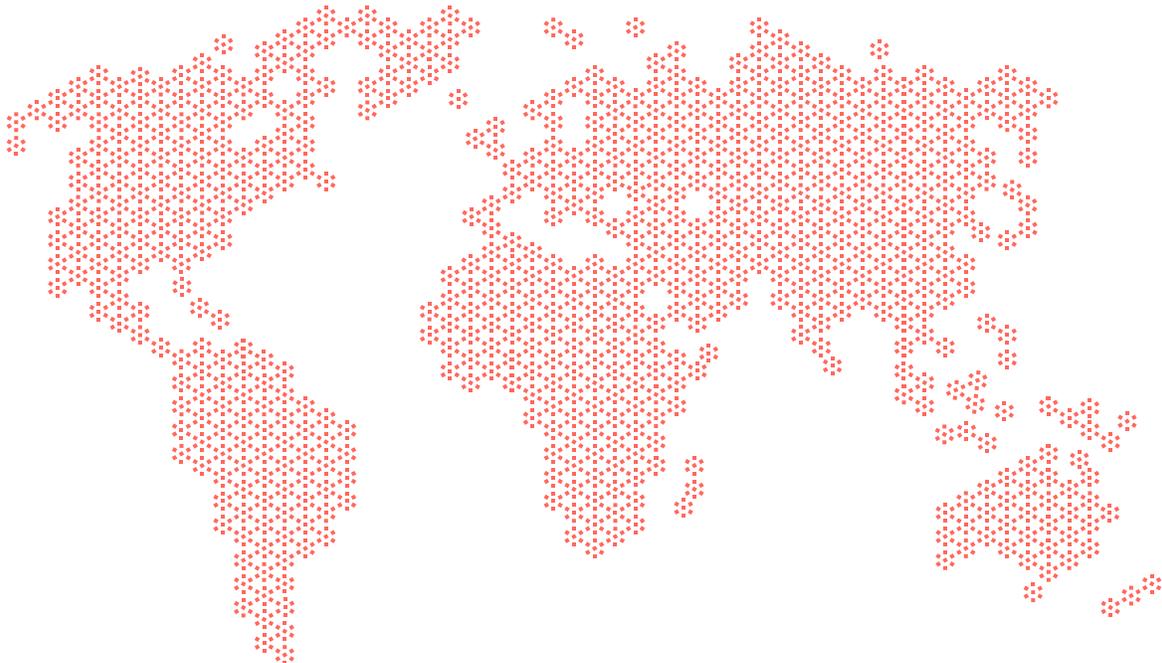


利点

Denodo Platformは、ファーストリパブリックのデータインフラストラクチャを最新化しました。Denodo Platformを導入することで、ファーストリパブリックは、スプレッドシートでビジネスを管理する従来の方法から、一元的に管理され、標準化されたデータセットを基にしたリアルタイムのダッシュボードでビジネスを管理する方法に移行することができました。つまり、Denodo Platformはインサイトを得るまでの時間短縮を実現しました。

Denodo Platformのサポートにより、ファーストリパブリックは以下のことを実現できました：

- 企業全体の統合データへの簡素化されたリアルタイムアクセスにより、部門間の連携、機敏性、および顧客サービスを向上
- 規制遵守とデータガバナンスを合理化
- 個別の垂直的ソリューションに対して、横断的なソリューションの数を増やすことで、「技術的負債」を削減
- 新しいデータプロジェクトの開発期間を2〜3か月から2〜4週間に短縮
- データの複製と関連コストを削減



denodo 

Denodoはデータ管理のリーダーです。受賞歴のあるDenodo Platformは、セルフサービス型BI、データサイエンス、ハイブリッド/マルチクラウド・データ統合、およびエンタープライズデータサービスを可能にする論理的アプローチを使用した、業界をリードするデータ統合、管理、および配信プラットフォームです。400%以上のROIと数百万ドルの利益を実現し、30を超える業界の大企業やミドルマーケット企業のDenodoの顧客は、6か月足らずでの投資回収を実現しています。